

【やまなし森林整備・林業成長産業化推進プラン】基準値、各年目標値

施策	項目	指標	目標値の設定根拠	基準値 (H30)	各年目標値（目標に向けて進めていく場合の目安となる値）										目標値 (R11)
					R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
森林の 公益的 機能の 強化	1 森林整備推進 森林の保全	①森林整備の実施面積 (年間)	人工林の齢級構成を平準化するための主伐・ 再造林面積の増加や荒廃森林の解消に必要な間 伐等の森林整備量を考慮し、設定	6,124ha/年	6,193ha/年	6,262ha/年	6,331ha/年	6,400ha/年	6,529ha/年	6,658ha/年	6,787ha/年	6,916ha/年	7,045ha/年	7,174ha/年	7,300ha/年
	2 治山施設等の整備	②山地災害危険地区対策 地区数(累計)	山地災害の未然防止のため、山地災害危険地 区への治山施設の計画的な整備に取り組むこと としており、未整備の山地災害危険地区への新 規着手数を年間15地区、計画期末までに16 5地区計画。	2,322地区	2,337地区	2,352地区	2,367地区	2,382地区	2,397地区	2,412地区	2,427地区	2,442地区	2,457地区	2,472地区	2,487地区
		③長寿命化対策済の施設 数(累計)	集落周辺の治山施設や林道の橋梁・トンネル など老朽化した施設の補修として、各個別施設 計画に基づき、計画期末までに156施設を計 画。	232箇所	250箇所	268箇所	286箇所	304箇所	316箇所	328箇所	340箇所	352箇所	364箇所	376箇所	388箇所
	3 森林空間の利活用	④森林公園、森林文化の 森、清里の森の利用者 数(年間)	H30年利用者実績値(武田の杜、金川の森、県 民の森、清里の森、森林文化の森)に利用者伸び 率(2.6%/年、武田の杜、金川の森及び清里 の森の指定管理者等が設定した目標利用者数を 基に算出)相当人数を加算	713千人/年	732千人/年	750千人/年	769千人/年	787千人/年	806千人/年	824千人/年	843千人/年	861千人/年	880千人/年	898千人/年	917千人/年
林業の 成長産 業化の 推進	4 県産材供給体制の強化	⑤木材生産量(年間)	令和11年度における需給計画(用途別県産 材需要量の見通し)の目標数値を設定。	201千m ³ /年	219千m ³ /年	237千m ³ /年	255千m ³ /年	272千m ³ /年	281千m ³ /年	290千m ³ /年	299千m ³ /年	308千m ³ /年	317千m ³ /年	326千m ³ /年	335千m ³ /年
		⑥製材用途の木材生産量 (年間)	令和11年度における需給計画(用途別県産 材需要量の見通し)の目標数値を設定。	24千m ³ /年	26千m ³ /年	28千m ³ /年	30千m ³ /年	32千m ³ /年	38千m ³ /年	45千m ³ /年	51千m ³ /年	58千m ³ /年	64千m ³ /年	71千m ³ /年	77千m ³ /年
	5 県産材需要拡大の推進	⑦木材製品出荷量 (年間)	用途別県産材需要量の見通しから製品出荷量 を推計し、目標として設定。	15千m ³ /年	25千m ³ /年	35千m ³ /年	44千m ³ /年	54千m ³ /年	61千m ³ /年	67千m ³ /年	73千m ³ /年	79千m ³ /年	86千m ³ /年	92千m ³ /年	98千m ³ /年
	6 林内路網整備の推進	⑧林内路網の整備延長 (累計)	県産木材を安定的に低コストで搬出するとと もに、主伐後の再造林などの資源の循環利用を 進めるため、林内路網整備計画に基づき、林内 路網を年間45km、計画期末までに495k m整備。	4,598km	4,643km	4,688km	4,733km	4,778km	4,823km	4,868km	4,913km	4,958km	5,003km	5,048km	5,093km
	7 木質バイオマスの利活 用の推進	⑨木質バイオマス燃料用 木材供給量(年間)	令和11年度における需給計画(用途別県産 材需要量の見通し)の目標数値を設定。	38千m ³ /年	56千m ³ /年	74千m ³ /年	92千m ³ /年	109千m ³ /年	111千m ³ /年	113千m ³ /年	115千m ³ /年	117千m ³ /年	119千m ³ /年	121千m ³ /年	122千m ³ /年
	8 林業の担い手の確保・ 育成	⑩林業の新規就業者数 (年間)	令和11年度の木材生産量の目標達成に必要な となる就業者(650人)を確保するために必要な 新規就業者数	41人/年	43人/年	45人/年	47人/年	50人/年	51人/年	52人/年	53人/年	54人/年	55人/年	56人/年	57人/年
	9 特産林産物の産地化の 推進	⑪クロアワビタケの生産 量(年間)	目標年度において、夏季期間中(6~10月) に山梨の夏の特産品として、県内の主要スー パー・道の駅等で販売されている状況を形成す るために必要な生産量。	0.32t/年	1.20t/年	2.20t/年	3.10t/年	4.00t/年	4.40t/年	4.90t/年	5.30t/年	5.70t/年	6.10t/年	6.60t/年	7.00t/年